

2 月 度 例 会 山 行 報 告 書		報告者	中山 正夫	参 加 メンバ-	CL:中山正夫
個人		報告日	3 / 12		
山 域	奥三河	山行日	08 年 02 月 16 日 (土) ~ ** 年 ** 月 ** 日 (*)		
山 名	筈ヶ岳				

山行目的	バイクで冬の奥三河山行	コースタイム (天候 : 天気図記号)
------	-------------	-----------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リ-ダ-
原紙: 集
会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図 : 寧比曾岳

02/16 晴れ
04:30 起床
05:30 自宅発
07:30 川面着 ~ :50 発
09:30 ~ :50 休憩
10:50 ~ 11:00 休憩
11:20 頂上着
11:30 頂上発
12:30 ~ :40 休憩
13:10 林道の峠
13:50 川面着
16:00 自宅着



山行報告 朝 5 時にバイクで自宅発。この季節、いつものことだが指先が冷たくなって時々エンジンで指先を温めながら走っていたので、今回はホッカイロをグリップに貼り付けてみた。これが大成功、快適に走れた。豊田市の川面 7:30 着。足助川の脇に駐車し民家の奥から山道に取り付く、すぐ顕著な尾根に出た。登山標識は一切ないので、地図をたよりに忠実に尾根を辿る。緩やかに登っていきやがて、最初の林道を横切り防火帯の切り開き (10m 幅で頂上まで続いている) を歩く。スパッツを着けて、風が寒いので、休憩せず頂上に向かうが峠から雪が膝まであり、吹き溜まりでは、ふとももまでもぐる、ワカンが欲しいとチョット思った。尾根上のアップダウンに疲れた頃頂上 11:20 着。頂上は貸し切り積雪 1m ぐらい。休憩の後、当初の計画寧比曾岳はとうてい無理なので、南西の尾根を下る。林道に出たが、バイクに向かう道がない。何度か迷って結局最初の尾根まで林道を登りぎみにもどる。登ってきた尾根をもどり、最初の林道に出たので、そのまま林道を歩いて登山口のバイクまで戻る 13:50 着。

感想 : 思っていたより雪が多かったので時間がかかり、寧比曾岳まではいけなかったが、昔来て登れなかった筈ヶ岳には今度は登れたのでよしとしよう。頂上からの下りの急斜面を泳ぐように歩いたのは、久しぶりにおもしろかった。

リーダー所見 下りでは何度か登山口に至る道があるだろうと、別なルートを選んだが、何度か迷いその度に引き返した無事登れて結果的に良かったが、単独行のためもう少し慎重に行動すべきだった。

迷ったら基本にもどり引き返す
雪頂に向かう背を押すエイヤと風が
ハンドルにホッカイロ巻き風を切る
小夜野

確認 (リ-ダ-)
中
08/02/19
山
作成 (報告者)
中
08/02/19
山